

# INFORMATION

T&D情報システム株式会社

平成30年11月26日

「VeeamON FORUM Tokyo 2018」にて、  
当社従業員が講演を行いました。

ヴィーム・ソフトウェア株式会社(\*1)主催の”ハイパー・アベイラビリティ”をテーマとしたイベント「VeeamON FORUM Tokyo 2018」(\*2)にて、テクニカルサポート一部IT基盤管理一課の居林直樹職員が講演を行いました。

(\*1)Veeam Softwareは、2006年スイス パールに設立されたデータ保護（バックアップ・レプリケーション）および仮想化環境の監視ツール開発を主とするソフトウェアベンダーです。世界30か国以上に支社を開設しており、55,000社以上のProPartnerと300,000社を超える顧客を擁しています。  
(\*2)エンタープライズ環境における常時稼働を実現するためのソリューションや最新情報について伝え、今後のデータセンターやデータ保護に対する新たなビジョンを得ることを目的に開催されました。

■講演日  
平成30年11月1日(木)

■講演場所  
ホテル雅叙園東京

■テーマ  
「太陽生命の仮想基盤に対するアベイラビリティ向上の取り組み」

■講演内容

ITを活用して高い競争力を実現している太陽生命では、早い段階から仮想技術の本番利用を開始した。仮想環境が拡大し始めた2012年ごろ、仮想サーバが急激に増加したことにより、バックアップに課題が発生した。これらの課題に対応すべく、「仮想特化」しているバックアップソリューションであるVeeam製品を導入した。

また現状の課題解決とともに将来の拡張性も実現し、作業効率の向上（標準化による設計迅速化）、可用性の向上（素早いリストアの提供）を図るなど、これまでの太陽生命でのVeeam導入事例や今後の計画などを紹介した。

■本人コメント

まだ日本法人が設立していない時期からVeeam製品に魅力を感じ、情報収集していました。

バックアップ課題に直面した際、今後の仮想技術の可能性やVeeam製品の将来性から、入社間もないながらも製品比較の一つとして提案し、主体となって機能検証を行い、複数の製品からVeeam社の導入に漕ぎ付けることができました。

現在では、各支社のバックアップシステムとしても利用するなど、社内採用の場が広がっております。

更なる活用方法についてVeeam社へ相談していたところ、このような素敵な場で、講演する機会をいただきました。

自分で選定した製品を導入し、評価され、その他のシステムにおいても、採用が決定することには大きな喜びを感じます。引き続き、魅力的な設計・提案ができるよう、知識・技術の向上に努めていきます。



居林職員(ホテル雅叙園東京にて)

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101